

# 主な納入事例

**mode** 有機物発酵処理システム Cモード

全国の自治体・民間プラントで弊社のシステムが活躍しています。

## 農林水産省動物検疫所

納入場所：福岡県北九州市

### 肉用牛(子牛) 1500頭の糞尿処理

肉用仔牛の需要数量増加を受け、新門司のマリナクロスに新設移転された日本最大規模の検疫場。月間1500頭の牛の検疫業務を行ない、外国からの伝染病を防止するため最新鋭の設備が導入されている。本施設では、検疫のローテーションにあわせた柔軟な処理に対応できることが機種選定の大きなポイントで臭気拡散などが発生しないことも条件となっている。Cモードの導入によって臭気問題の解消、作業時間の短縮など大きな効果を上げている。



## 伯耆堆肥センター

納入場所：鳥取県伯耆町

### 競走馬、乳牛の糞尿処理 8トン/日

大山のふもとに位置する施設。近隣にはJRAの競走馬を訓練するトレーニングセンターがあり、センターから出る馬ふんと町内で発生する牛糞を処理することを目的に本施設が建設された。冬期は外気温も非常に低く、季節変動を受けにくい処理方式であること、作業負担の少ないことが求められた。実際に年間を通じて安定した性能を発揮しており、運転頻度については週に3回、1回当たり約2時間の稼働となっている。生産した堆肥は県の農業普及部などで分析した結果、良好な成績を収めており、また馬ふん混合と言う希少価値もあって非常に人気が高く、品薄状態が続いている。



## 赤来堆肥センター

納入場所：島根県飯南町

### 乳牛190頭、繁殖和牛150頭、肥育牛160頭の糞尿処理

農業生産高のうち、米と畜産が50%ずつを占める。本地域は県内でも2地区しかない特A級米の産地でもあり、かねてより農業基盤の整備が求められていた。本事業では、大型の堆肥センターにより、家畜糞の適正処理と有機堆肥の利用による農業の品質向上の両立を目指している。本施設では、町内の牛糞を毎日回収し、水分調整材としてはオガコと生産した肥料を利用している。生産した堆肥はほとんどを水田用に利用している。今後は化学肥料や農薬を減らしたエコ米の生産にも着手し、町一丸となって「有機の里作り」を進める計画である。



# 主な納入事例 mode 有機物発酵処理システム Cモード

全国の自治体・民間プラントで弊社のシステムが活躍しています。

## 農業集落排水資源循環施設

納入場所：佐賀県杵島郡白石町

農業集落排水汚泥処理 1トン/日

町内の集落排水施設から排出される汚泥を搬入し、堆肥化。水分調整材にはモミガラと戻し堆肥を利用している。

周囲は民家も近接しているが、施設内は臭気もほとんど発生しない。

生産した汚泥発酵堆肥は袋詰めにして町内で販売。家庭菜園などに高い評価を得ている。



## 農業集落排水資源循環施設

納入場所：島根県

農業集落排水汚泥、合併浄化槽汚泥処理 1トン/日

汚泥処理施設を建設するまでは遠方のし尿処理施設まで毎日運搬されていた。運送コストと時間が日常の処理に大きなロスを与えていた。

農業集落排水処理場からも近い地域で脱水汚泥を処理することと、ランニングコストを抑えた施設を採用する事で脱水汚泥における処理費を大幅に削減することが出来た。



## 民間家畜糞処理施設

納入場所：沖縄県伊江村 有限会社仲宗根組

繁殖和牛糞尿処理、アガリクス栽培用菌床生産

沖縄本島の北部に位置する伊江村(伊江島)。離島という地理的な条件もあり島外より有機肥料を調達することはコスト的に負担は大きい。そこで、この島は繁殖和牛が盛んな地であり、家畜糞の有効利用に注目し弊社設備を導入して頂いた。

良質な有機肥料を生産し、豊かな土造りをする事でアガリクスの栽培が始まる。標準的なものより大きく質の高い製品が収穫できるようになり、本格的な栽培に向けて期待が高まる。

